

セミナー開催後 レポート

2020年以降、特定技能外国人の採用が爆発的に増加しています。2021年3月末の時点で前年の約6倍まで増えているのですが、その背景には技能実習生からの切り替えだけではなく、新規で特定技能外国人を採用する企業が増えていることが大きく作用しています。しかし、慢性的な労働力不足の解消に有効とされる外国人材の雇用は、国内の一般採用とは異なる課題も多い点を懸念されている企業様も多くいらっしゃいます。

そこで2021年9月17日、外国人材採用を行う企業様の課題解決に取り組んでいるカムテックが、採用マーケティングツールを展開する株式会社学生就業センターより小栗悠介氏を迎え、特定技能外国人の採用に関する課題と対策について詳しく解説を行うWEBセミナーを開催しました。

- 『特定技能外国人の採用に関する課題と対策』を解説するセミナーに25名が参加！

『在留人数昨年比5倍超え！』

特定技能外国人の採用における課題と対策を徹底解説！

～今後求められる採用チャネルとは？～

学生就労支援センター × CAM

当日は特定技能を活用した外国人材の採用を検討、またはすでに特定技能を活用して外国人材の採用を行っている企業様などから25名の採用担当者様にご参加いただきました。

これまで長くコロナ禍の影響を受けてきた外国人材の採用ですが、景況感の回復に伴う人材採用ニーズの拡大が発生。そこで注目が集まったのが、渡航制限下にあっても国内での外国人材の採用が可能となる『特定技能』制度です。

現在までにだいたい理解が浸透したように見られる特定技能制度ですが、まだまだ対応すべき課題があり、多くの企業様においては採用活動において対策を講じる必要が求められています。そこで今回、改めて解決すべき課題を紹介し、スムーズな外国人材の雇用を行うための新たな採用チャネルについて解説いたしました。

■特定技能外国人採用における課題についてわかりやすく解説

セミナーの第1部では、キャムテックの【鮫島慎吾】が登壇。特定技能外国人の活用が増えている状況と背景、そして特定技能制度の募集要項などについて紹介を行いました。そして特定技能制度を活用するにあたってどのような課題があるのか、細かなシチュエーションに対して具体例を挙げ、わかりやすく解説を行いました。

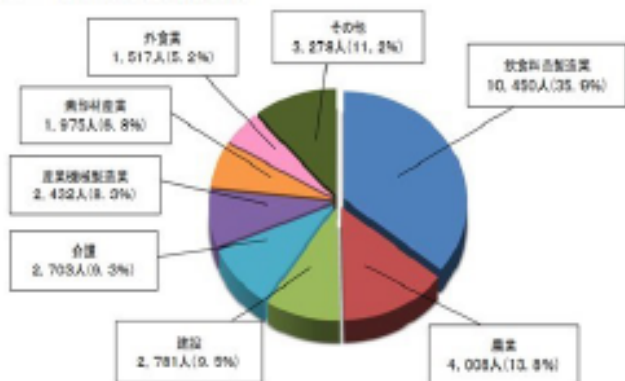
特定技能

帰国困難による「特定活動」の措置により、国内に在留中の技能実習修了者を特定技能として採用する傾向が増加。

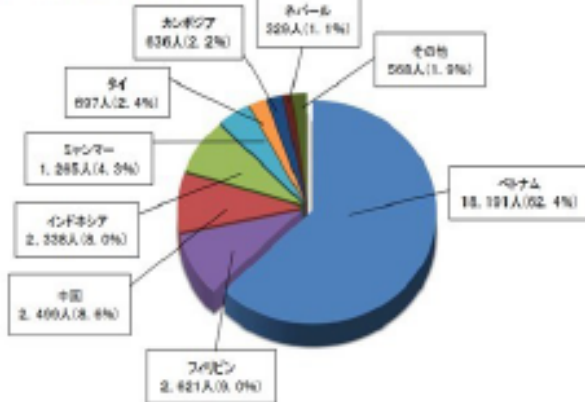
今年3月末時点で**2万2567人**、1年前の3987人から**6倍近くに増加**。

今年6月時点では2万9144人と更なる伸びを見せている。

【第1-1図】特定産業分野別割合



【第1-2図】国籍・地域別割合



※図の出典元は出入国在留管理庁発表資料から

まずは特定技能制度を活用する企業様がどのくらい増加しているのか、数字を用いて対前年の伸び率を紹介。グラフを用いて活用する産業や採用する外国人材の出身地などを紹介。同時に増加する要因について、具体的に紹介を行いました。

特定技能外国人募集



特定技能制度の仕組みについても、図を使いながら詳しく解説を行いました。その後、具体的な募集要項を紹介しながら、採用する際に行わなければならないことや注意点について解説を行いました。

特定技能外国人採用における課題

- ①応募数が少ない
- ②ミスマッチの発生
- ③採用適任者がいない
- ④採用にコストをかけられない
- ⑤募集媒体が少ない

特定技能を活用する際の課題については、5つの項目に分類した上でそれぞれ詳しく解説しました。その上で課題解決に向けて何が必要であるのか、対策についても紹介を行っています。

■「今後求められる採用チャネル」について詳しく紹介

続いて第2部では、株式会社学生就業支援センターでマネージャーを務める【小栗悠介】氏にご登壇いただきました。小栗氏には外国人材が何を求めているか、その外国人材へアプローチをかける上で有効な採用チャネルは何かについてご紹介いただき、具体的かつわかりやすい内容で解説していただきました。

① 海外人材が求めるポイント

『ミスマッチを防ぎたい』

◎ 詳細な情報

◎ 信憑性

◎ 共感性

 学生就業支援センター
Gakucen

外国人材が求めるポイントについては、もっとも大きな例としてミスマッチを防ぎたいという課題を挙げました。その上でどのような対処を行えばいいか、課題解決に向けた3つのポイントを紹介しました。

② 訴求可能な新たな採用チャネルとは

**Visicomi
Global**

GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

Gakucen
学生就業支援センター

ビジコミグローバルとは……
《応募をするあたり把握しておきたい情報》を
第三者目線で訴求することが出来る
ロコミコンテンツです

次に外国人材への訴求可能な採用チャネルとして、『ビジコミグローバル』を紹介しました。これは第三者目線で求職者ニーズに応える情報を網羅しつつ、募集要項の公開やエントリーなども行える、ロコミベースのビジネスコミュニケーションコンテンツです。

② 訴求可能な新たな採用チャネルとは

今後の市場予測

求人を選ぶ
ようになる

求人が
増える

売り手市場
へと変化

競争が
激化



求人増は競争を招き、結果現在の買い手市場は崩壊し、売り手市場へとマーケットは変化



求職者は数多くの選択肢から選ぶことが出来る為、好条件だけでなく、情報量へも目が向くようになる



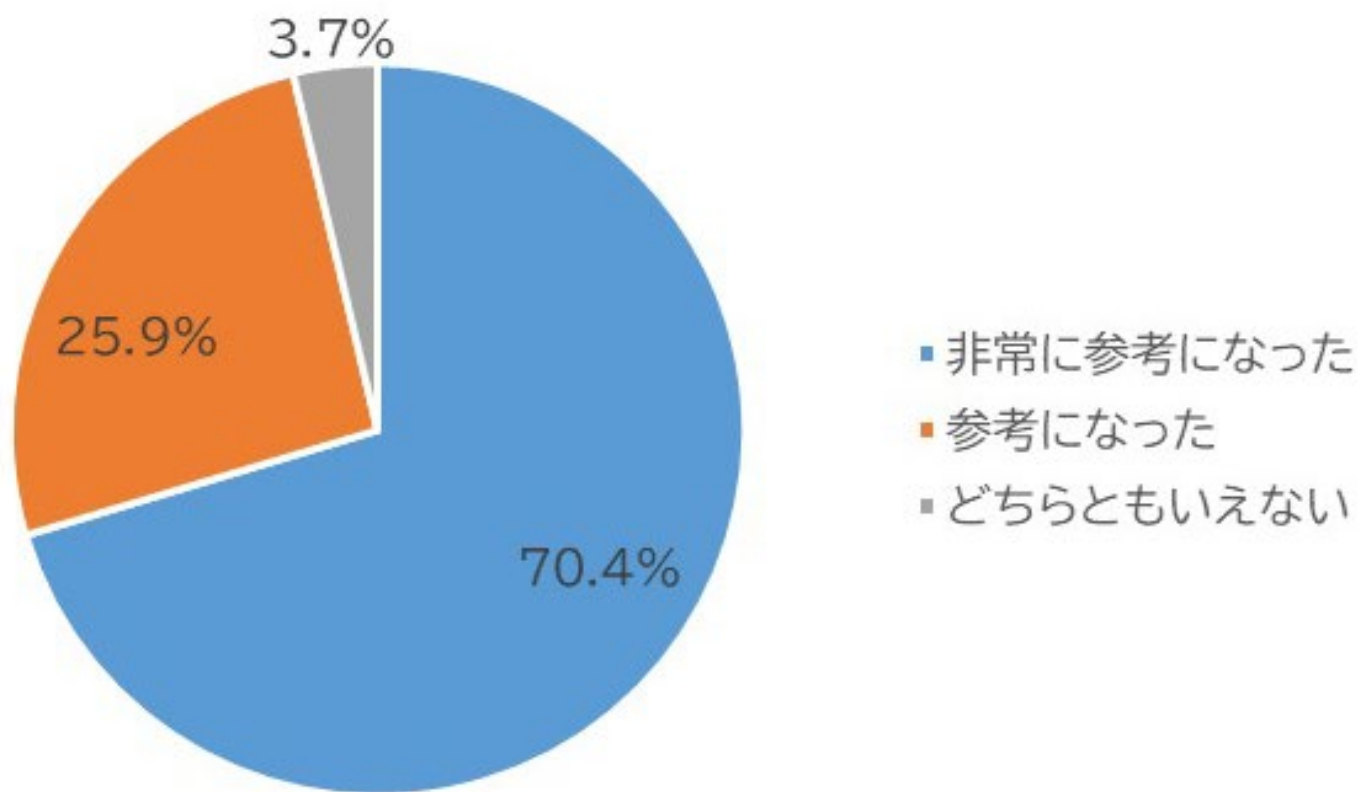
求職者の見る目も養われている為、情報の量と質の担保は求人側としてはマスト要件となる

 学生就業支援センター
Gakucen

最後に外国人材の求人市場の動向予測について解説を行い、これからの市場競争に勝ち抜く手段として『ビジコミグローバル』の有効性も紹介しました。

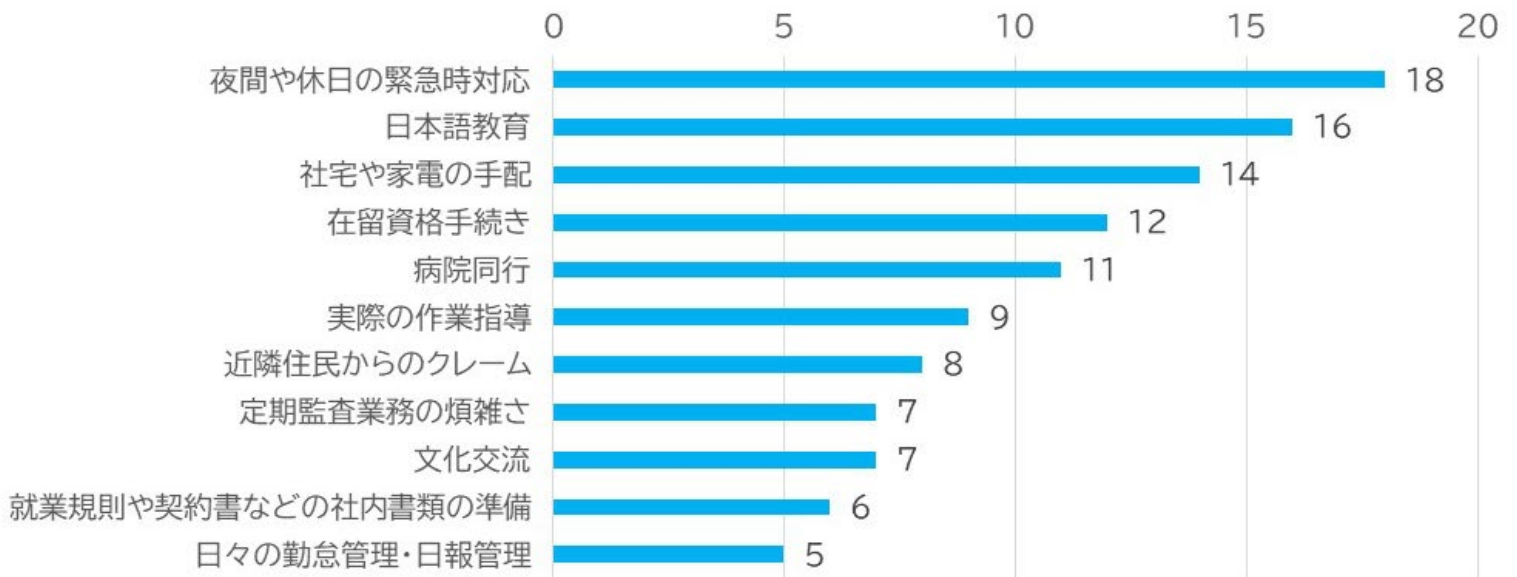
■満足度 96.3% !

セミナーの満足度



参加された方の満足度は96.2%と高く、特定技能を活用しての外国人材の活用において大いに学ぶところがあったようです。

外国人材活用で課題に感じていること(複数選択可)



すでに外国人材の雇用や活用を行っている企業様13社に対し、「外国人材活用で課題に感じること」について伺いました。回答によると「夜間や休日の緊急時対応」に課題があるとの答えがもっとも多く、「日本語教育」「社宅や家電の手配」が続きました。外国人が異国の地で生活を営むにあたり、安全・安心に過ごせる環境や言葉によるコミュニケーションが重要であり、そこにハードルを感じている企業様も多いことが見受けられました。

また、参加された方からは、以下のようなご感想をいただきました。

「分析したデータの活用法について、課題の抽出など参考になった」

「応募数を増やすためにも、分析が必要だということがわかりました」

「素人目線から解説してくれて、とてもわかりやすかった」

「実際の画面を通じて、具体的に説明してくれた内容が参考になった」

今回いただいたご意見やご感想は、今後のセミナー運営に活用させていただきます。

■注目のGMSセミナー

キャムテックでは、海外人材マネジメントサービス【GMS】のセミナーを定期的で開催しております。より具体的に現場のニーズに即したテーマを提供してまいりますので、ぜひご参加ください。

<https://gms.ca-m.co.jp/archives/seminar/>